

## 講評・あいさつ

加倉井孝臣氏（一般財団法人日新塾精神顕揚会理事長）

ご紹介いただきました、一般財団法人日新塾精神顕揚会理事長の加倉井孝臣でございます。本日は、明治維新150年記念日本遺産講演会「日新塾を考える」にお招きいただき、誠にありがとうございます。

本日はお忙しい中、大変貴重なお話を聞いていただきました、橋本先生と鈴木先生には改めて御礼申し上げます。また、このような素晴らしい講演会を開いていただきました、水戸市教育委員会の方々にも感謝申し上げます。

私ども、一般財団法人日新塾精神顕揚会は、昭和17年に設立された大変古い財団でございます。創設者は日新塾の門弟では珍しい存在で、経済界や金融界において名を成しました、川崎財閥の創始者であります、川崎八右衛門という人物です。

はじめに、当財団の使命でございますが、加倉井砂山が創立いたしました、日新塾の維持・管理・保存と日新塾という私塾の優れた教育方針等を後世に伝承することです。

私は15年前から理事長を務めさせていただいております。また、私は加倉井砂山から見まして、6代との子孫でございますが、元々は川崎の出身でございます。父が加倉井家の養子になったため、現在、加倉井の姓を名乗っております。

本日のご講演を聞かせていただき、私の知らなかつたことを含めまして、様々なことを学ばせていただきました。

この講演会は明治維新150年の記念行事だと聞き及んでおりますが、明治維新において、日本が近代国家として世界にも類を見ない発展を遂げたことは江戸時代末期の高度かつ広範な教育システムがあったからだと存じます。

橋本先生や鈴木先生のご講演から、改めて私塾の存在意義の高さや日新塾のすばらしさを感じました。また、水戸市埋蔵文化財センター所長の関口さんには、日新塾を何度も発掘していただき、貴重な歴史遺産を発見していただけております。



講評・挨拶される加倉井理事長

当財団の活動でございますが、我々は小さな財団でして、できることにも限りがございます。今後も身の丈に合った活動を地道に行ってまいりたいと考えております。

具体的に申しますと、日新塾の知名度をより向上させることでございます。我々は普段東京で生活しておりますが、月に数回、理事会や評議員会などで水戸を訪れます。しかし、水戸駅からタクシーに乗り、「日新塾に向かってください。」というと多くの運転手の方が日新塾のことを知りません。その様な状況ですので、日新塾の価値をより発信し、認知度の向上を目指していきたいと考えております。

また、茨城県立歴史館には、明治10年の火災の際に残りました教材や教科書、書簡などが1,800冊以上所蔵されております。この書籍を専門家を見て、精査・分類していただきたいと考えております。さらに、鈴木先生のお話にもありました興野道甫のような門弟の子孫の方が数多くいらっしゃいます。その方々のご自宅に残っております加倉井砂山の手紙などの資料につきましても収集し、日新塾の価値をより正確に検証していきたいと考えております。

以上を持ちまして、私の挨拶並びに講評とさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。